# 港湾・都市基盤整備推進特別委員会

（日時：令和２年３月 19 日（木）
午前 10 時
場所：第３委員会室）

○　議題

・　令和元年度防災対策事業の実績について

港湾・都市基盤整備推進特別委員会
令 和 2 年 3 月 19 日
市民防災部防災危機管理課

# 令和元年度防災対策事業の実績について

## 1　総合防災訓練

八戸市地域防災計画に基づき、国、県及びその他の防災関係機関並びに地域住民参加のもと、地震、洪水及び土砂災害発生時の応急対策並びに避難行動を、迅速かつ円滑に実施できるように訓練するとともに、防災対策の強化、地域住民の防災意識の高揚を図ることを目的とする。

(1) 実施日時　令和元年９月１日（日）8:00～13:00
(2) 実施場所　南郷地区
（島守小学校、新井田川水辺の楽校、南郷公民館、南郷カッコーの森エコーランド）
(3) 主　　催　八戸市、八戸地域広域市町村圏事務組合消防本部、八戸圏域水道企業団
(4) 参加人員　約 1,800 名
①南郷西地区自主防災協議会、島守地区自治会連合会
②南郷小学校、島守小学校、中沢中学校、島守中学校
③防災関係機関・団体（陸海空自衛隊、県防災航空隊、災害協定締結団体等）
(5) 訓練項目　災害発生時初期対応訓練（情報伝達訓練等）
地震・洪水・土砂災害避難対応訓練（島守小学校・南郷公民館への避難訓練等）
洪水対応訓練（新井田川水辺の楽校での救助・救出訓練等）
地域自主防災訓練（南郷公民館での避難所運営訓練等）
展示・体験訓練
（南郷カッコーの森エコーランドでの災害協定締結団体・自衛隊等による展示）　等

## 2　災害図上訓練

### (1) 第１回災害図上訓練

八戸市地域防災計画に基づき、河川の水害を想定し、警戒体制から災害対策本部設置までの初動対処行動の訓練のほか、災害対策本部員会議の開催や、様々な状況に対する防災関係機関と協力した災害応急対応の訓練等を、令和元年 11 月 1 日に実施を予定していたが、令和元年東日本台風（台風第 19 号）への対応のため中止した。

＜当市の被災地支援の状況＞

① 総務省、全国知事会、全国市長会、全国町村会及び指定都市市長会で構成する被災市区町村応援職員確保調整本部が、甚大な被害を受けた宮城県角田市の対口支援団体を青森県に決定したことに伴い、青森県市町村課から県内市町村に対し職員の派遣要請があり、次のとおり職員を派遣した。

ア　罹災証明発行支援（家屋調査）
・派 遣 先　宮城県角田市
・派遣職員　１名（財政部）
・派遣期間　10 月 25 日（金）～11 月 1 日（金）

イ　災害廃棄物対応支援
・派 遣 先　宮城県角田市
・派遣職員　１名（総務部）
・派遣期間　10 月 25 日（金）～30 日（水）

② 福島県の要請により、厚生労働省から青森県に対し保健師の応援派遣の要請があり、職員を派遣した。

・派 遣 先　福島県郡山市

・派遣職員　保健師６名、事務職員３名（保健師２名、事務職員１名で１班の計３班）

・派遣期間　10 月 31 日（木）～11 月 12 日（火）

※３班が４泊５日で交代して活動

③ 宮城県の要請により、厚生労働省ＤＭＡＴ（災害派遣医療チーム）事務局から青森県に対し出動要請を受け、職員を派遣した。（市民病院）

・派 遣 先　宮城県丸森町

・派遣職員　医師３名（救命救急センター）、看護師４名、臨床工学技士１名、放射線技師１名、薬剤師１名の計 10 名

１次隊：医師２名、看護師２名、臨床工学技士１名、放射線技師１名

２次隊：医師１名、看護師２名、薬剤師１名

・活動期間　１次隊：10 月 14 日（月）～16 日（水）

２次隊：10 月 16 日（水）～18 日（金）

④ 消防庁から青森県に対し、宮城県への出動要請があり、青森県の緊急消防援助隊（青森県大隊）として職員を派遣した。（八戸地域広域市町村圏事務組合消防本部）

・主な活動場所　宮城県丸森町　阿武隈川周辺の河川浸水被害現場

・派遣車両　　２台（救助工作車、支援車）

・派遣職員及び派遣期間

１次隊：２隊９名　10 月 13 日（日）～16 日（水）

２次隊：２隊９名　10 月 16 日（水）～18 日（金）

・活動内容　　孤立地区の安否確認及び行方不明者の捜索

⑤ 北奥羽地区水道事業協議会の正会員（久慈市、普代村）からの応援要請に対して職員を派遣した。（八戸圏域水道企業団）

・派 遣 先　久慈市、普代村

・派遣車両　久慈市：給水タンク車（3.2 ㎥）１台

普代村：給水タンク車（3.2 ㎥）延べ３台、給水タンク車（2.0 ㎥）１台

・派遣職員　久慈市：延べ４名、普代村：延べ 18 名

・派遣期間　久慈市：10 月 16 日（水）、普代村：10 月 15 日（火）～18 日（金）

・活動内容　被害状況の調査、応急給水、給水タンク等の貸与

物資提供（ペットボトル 1,000 本、給水袋 2,000 枚）

⑥ 「大規模災害時における八戸・久慈・二戸の三圏域に係る市町村相互応援に関する協定」に基づく応援要請により物資の提供を行った。

| | |
|---|---|
| 支援先 | 久慈市 |
| 期　間 | 10 月 16 日（水） |
| 内　容 | 土のう袋 5,000 枚 |
| 支援先 | 普代村 |
| 期　間 | 10 月 17 日（木） |
| 内　容 | ブルーシート 100 枚、マスク（大人用）1,000 枚、マスク（こども用）1,000 枚 |

### ⑵ 第２回災害図上訓練

八戸市地域防災計画に基づき、避難所となった施設の学校職員及び避難所が所在する各自主防災会の協力を得て、避難所運営ゲーム（ＨＵＧ）を活用した避難所運営訓練を実施し、市職員等の防災力のスキルアップを図る。

① 実施日時　令和２年１月 29 日（水）9:00～12:00

② 実施場所　市庁別館２階　会議室Ｃ

③ 参加人員（53 名）

ア　各部の市職員

イ　訓練対象小・中学校の教諭

ウ　自主防災会（小・中学校の所在する自主防災会）

・中居林地区自主防災協議会（中居林小学校）

・白銀地区自主防災会（白鷗小学校）

・大久保地区連合町内会自主防災会、上大久保自主防災会あじるネット（白銀南小学校）

・田面木地区連町自主防災会（田面木小学校）

・永福寺町内自主防災会、滝谷町内会自主防災会（豊崎小学校）

・館地区連合町内会自主防災会（明治中学校）

④ 訓練内容

中居林小学校、白鷗小学校、白銀南小学校、田面木小学校、豊崎小学校及び明治中学校が避難所となったことを想定し、避難所運営ゲーム（ＨＵＧ）を活用した避難所運営訓練を実施した。また、令和元年東日本台風（台風第 19 号）の際の避難所運営について意見交換を行った。

＜ＨＵＧ＞

図上訓練の一手法で、「Hinanzyo（避難所）」、「Unei（運営）」、「Game（ゲーム）」の頭文字を取ってＨＵＧ（ハグ）と読み、英語で抱きしめるという意味になる。避難者の受入れをワークショップの技術を活用して模擬体験する訓練。